

# 2022 年度 通友会総会資料

2022 年 6 月 11 日

2022 年度 通友会総会 14:00~15:00

ハイブリッド開催

- ・リモート(ZOOM)会議
- ・自由が丘クラブ(武蔵工業会館)

## 総会式次第

1. 会長挨拶
2. 2021 年度活動報告 (資料 1)
3. 2021 年度決算報告 (資料 2)
4. 2021 年度監査報告 (資料 3)
5. 通友会会長の選出
6. 通友会会長挨拶
7. 2022 年度活動計画案 (資料 4)
8. 2022 年度予算案 (資料 5)
9. 役員及び各期幹事選出 (資料 5)
10. その他報告 (資料 7)

## 2021 年度活動報告

## 2021 年

4.30	通友会役員会	リモート会議にて実施
5.12	通友会役員会	リモート会議にて実施
5.29	通友会総会	リモート会議にて実施
10.27	通友会役員会	リモート会議にて実施

## 2022 年

1.18	パネルディスカッション 「未来志向でのキャリアデザイン」 ～これからの世界を引っ張る Z 世代の皆さんへのアドバイス～	ハイブリッド開催
1.31	電友会との打ち合わせ	校友会事務局
3.19	通友会賞授与(2名)	東京都市大学
3.13	通友会役員会	リモート会議にて実施

## 2021 決算報告

## 1. 収入の部

項目	2021 年度予算	執行額	備考
前年度繰越金	1,177,224	1,177,224	現金及び UFJ
受け取り現金	0		
20 年会費	100,000	16,000	新卒業生20名想定
終身会費	200,000	51,000	既卒20名想定
寄付金	100,000	64,000	
校友会援助金	200,000	150,000	
雑収入	0	9	利子など
—			
郵貯前年度繰越金	2,468,099	2,468,099	エクセレント賞分を除く郵便貯金分
—			
エクセレント賞繰越金	485,000	485,000	
合計	4,730,323	4,411,332	

2. 支出の部

項目	2021 年度 予算	執行額	備考
会誌発行費	0	0	
通工会補助費	100,000	0	
通信交通費	50,000	0	役務手当等を含む 10 名x5 回程度想定
総会関係費	0	0	参加費等もあるので補助的な金額
奨励賞費	20,000	10,000	卒業式 2 名 5000 円x2 名
慶弔費	50,000	0	他 OB・OG 会との交流費用
運営費	100,000	0	
事務費	10,000	0	役員会他・会館使用費用等
雑費	5,000	0	コピー代など
手数料	5,000	3,246	振込手数料等
交流会費	200,000	0	バス見学会などイベント
予備金	20,000	0	
次年度繰越金	1,217,224	1,167,233	現金及び UFJ
郵貯次年度繰越金	2,468,099	2,745,853	エクセレント賞分を除く郵便貯金分
エクセレント賞次年度繰越金	475,000	485,000	
エクセレント賞	10,000	0	
合計	4,730,323	4,411,332	

## 2022 年度活動計画案

今年度も引き続きコロナ禍での活動となりますが、以前に比べて自由に活動できるようになってきております。できる限りコロナ禍前のように活動していきたいと考えておりますが、まだ、具体的な日時で予定するのが困難なため、計画内容を記載し、今後の状況によって可能な範囲で実行していきたいと考えております。

1. 通友会総会 (2022.6.11)
2. 講演会の実施(ハイブリッドでの講演会も検討します)
3. FLUX 45 号発行準備
4. 学生団体との交流・協力(学生団体との情報交換、活動補助、研究機関バス研修会等)
5. 電気電子通信工学科教授、大学院教授との情報交換
6. 通友会賞の積極推進
7. 財務状況の改善(卒業生の 20 年会費納入促進、終身会費納入の促進、寄付の推進等)
8. 積極的な情報発信(ホームページの充実等)

## 2022 年度予算案

活動計画案と同様に現状把握できる範囲での案といたします。

## 1. 収入の部

項目	2022 年度予算	備考
前年度繰越金	1,167,233	現金及び UFJ
受け取り現金	0	
20 年会費	25,000	新卒業生 5 名想定
終身会費	200,000	既卒 10 名想定
寄付金	100,000	
校友会援助金	200,000	
雑収入	0	利子など
—		
郵貯前年度繰越金	2,745,853	エクセレント賞分を除く郵便貯金分
—		
エクセレント賞繰越金	485,000	
合計	4,923,086	

2. 支出の部

項目	2022 年度予算	備考
会誌発行費	1,300,000	
通工会補助費	100,000	新学科生でも可とする方針の為、計上
通信交通費	50,000	役務手当等を含む 10 名×5 回程度想定
総会関係費	50,000	参加費等もあるので補助的な金額
奨励賞費	10,000	卒業式 2 名 5000 円×2 名
慶弔費	50,000	他 OB・OG 会との交流費用
運営費	100,000	
事務費	10,000	役員会他・会館使用費用等
雑費	5,000	コピー代など
手数料	5,000	振込手数料等
交流会費	200,000	バス見学会などイベント
予備金	20,000	
次年度繰越金	567,233	現金及び UFJ
郵貯次年度繰越金	1,970,853	エクセレント賞分を除く郵便貯金分
エクセレント賞次年度繰越金	475,000	
エクセレント賞	10,000	
合計	4,923,086	

## 役員及び各期幹事選出

役員	
会長	藤川 進 (S47)
副会長	金子 核 (H5)
副会長	伴城 暢一 (H5)
財務	坪井 博志 (H17)
コミュニケーション	井田 匠海 (H31)
監査	松岡 孝 (S47)
	挽野 元 (H2)
顧問	矢澤 猛 (S47)
顧問	鈴木 威一 (S41)
顧問	大島 弘之 (S40)
顧問	原口 兼正 (S49)
顧問	柴田 随道 (電気電子通信工学科教授)

## 各期幹事

S22 長岡 泰磨		H1 菅井 洋一郎	
23 富永 滋		2 赤池 貞仁	加藤 達也
24 [ ]		3 伊藤 英吉	加藤 洋一
25 河原 三郎		4 亀岡 義治	住吉 仁
26 [ ]		5 稲生 聡	伴城 暢一
27 [ ]		6 伊藤 正宏	大川 恵達
28 片岡 徳昌		7 木元 章平	小山 哲弘
29 [ ]		8 中村 素央未	真野 敏弘
30 関口 一雄		9 赤津 直	服部 優児
31 [ ]		10 田口 敏裕	八木田 恒一
32 川口 廣海	副島 信治	11 青木 幸司	高野 仁
33 上野 啓二	三宅 将善	12 阿江 則聡	莊 泰明
34 桑島 進	中添 淳	13 記虎 正幸	
35 藤澤 寛一		14 繁永 正健	埜 敬一
36 伊藤 勝彦	増田 隆	15 佐川 真也	渡邊 陽介
37 金子 郁夫		16 小野 洋史	安井 裕史
38 佐藤 光司		17 梅沢 稔	萩原 康光
39 片田 安彦	増岡 高充	18 北村 健	東條 雄史
40 千葉 博司	大島 弘之	19 網屋 庄二	鈴木 智幸
41 辻 修	増澤 信義	20 青山 英樹	宮坂 賢治
42 棕田 隆之		21 岡崎 仁美	加藤 嘉泰
43 石井 寛	村井 克郎	22 坂本 一馬	對馬 秀彰
44 中田 良英		23 佐々木 壮也	鈴木 理恵
45 重藤 隆	柴崎 茂	24 小野 佑馬	小澤 力也
46 蔵方 晴夫	河口 修	25 榎谷 康成	原 一希
47 藤川 進	松岡 孝	26 平野 貴大	野口 直希
48 国藤 健一	中野 賢一	27 森 拓也	間山 京将
49 坂本 芳博	深谷 博明	28 和田 章俊	萩原 健人
50 小坂 尚志	齋数 義博	29 山田 大貴	星野 沙季
51 萩原 俊一	森 和彦	30 草間 好輝	中林 美有
52 宇津木 温	平本 純也	31 井田 匠海	青野 佳奈
53 井上 浩之	大塚 正明	R1 井出 巧海	
54 竹内 真一	田代 学	R2 渡邊 尚	
55 松野 勉		R3 柴 和弘	
56 泉 明夫	中村 健太郎		
57 高坂 徹	三井 俊雄		
58 池田 和弘	田中 敦	名誉会員	
59 天本 成志	大沼 克己	S32 副島 信治	
60 猪瀬 直人	巻島 杉夫	S34 中添 淳	
61 中島 啓一			
62 宮崎 千春	山田 和義		
63 高橋 雄司	宮崎 久志		

## その他報告事項

## 1. 2021 年度通友会賞報告

通友会賞受賞者(2名)

柴 和弘 君

- ・ 通工会会長（2020 年度）として学科活動を活性化。
- ・ 12/15 電気電子通信工学科の3年生を対象にした就活・院進・研究室相談会にて就活経験談や研究室での研究の取り組み経験をプレゼンテーションして情報共有、個別相談会を行った。
- ・ 1/18 通友会主催、電友会協賛の在校生向けパネルディスカッション講演会にあたり、会場のハイブリッド形式での実施環境の準備と当日のオペレーションを通工会として引き受けて支援した。

高橋 朋也 君

- ・ 通工会内のセキュリティ班の活動にて、Android アプリ「JR 東日本 列車運行情報 プッシュ通知アプリ」の API サーバの脆弱性を発見し、IPA に届け出ました。

Android 端末の通信内容を確認するなかで当該アプリの通信内容に設計上のミスがあることに気が付き、詳しく見たところ他ユーザの情報を取得したり設定を改ざんしたりできるものと判明したものです。悪用された場合、利用者への被害があるものであったため、IPA の「脆弱性関連情報の届出受付」に届け出て、対応をしていただいたという経緯です。

IPA への届出は受理され、その後の調整でアプリの配信元が配信停止する対応を取りました。脆弱性の報告元は「東京都市大学 通信工学会」とし、JVN に掲載されています。

<https://jvn.jp/jp/JVN01119243/>

<https://jvndb.jvn.jp/ja/contents/2019/JVNDB-2019-000021.html>

また、複数のニュースサイトで報道されています。

<https://scan.netsecurity.ne.jp/article/2019/04/02/42163.html>

<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/1177645.html>

COVID-19 の感染拡大状況を考慮して通友会役員の卒業式への参加は取りやめ、教員の方々から賞状・副賞を授与していただきました。

以上